

近所の お医者さん

451

D Medical Clinic Osaka 院長 広瀬正和さん 一大阪市北区

無症状の糖尿病

糖尿病という病気はやかいです。痛くない、かゆくない、しんどくないのです。

糖尿病の症状といえば、喉が渴いたり、体重が減ったり、「多尿」といって、夜に尿で何度も目を覚ましたり

することもあり

ます。このような症状は血糖値(正常値は1デシミリあたり100ミシ程度)が同300〜400ミシなど、かなりの高血糖になった時に

表れることが多いです。

しかし、糖尿病を発症する患者さん全てがこの症状が出てから診断されるわけではありません。会社の健診や、たまたま血液検査で見つかる患者さん

定期的な受診を

しても合併症の症状が改善すること

はないかもしれません。

はそこまで高血糖でない状態で見つかることが多く、このような患者さんは無症状です。症状がないのに、食事や運動に気を付けて、薬を飲まなくてはならないので、患者さんのモチベーションを保つのが難しい病気と言われています。

糖尿病患者さんは、よく「合併症が心配」と訴えられます。糖尿病では、長期間の高血糖が原因で全身の血管がダメージを受けることによって合併症

が進行します。3大合併症といわれる「目」「腎臓」「神経」の合併症についても、自覚症状が出る前に、無症状のうちから血管の詰まりや目の血管の小さな出血が進んでいきます。視力が悪くなる、尿が出にくくなる、浮腫むなどの合併症の自覚症状が、体に出てくる時にはかなり進行した状態なのです。そこからはどれだけ血糖値を良くしても合併症の症状が改善すること

